



日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

この「旭丘小学校だより 学力調査結果報告」では、4月に行われた全国学力・学習状況調査（6年国語・算数）、県基礎学力調査（4年国語・算数、6年社会・理科・英語）および質問紙の結果から分析したことをもとに、課題や今後の指導における改善策についてお知らせいたします。

【課題・改善策】

○国語（6年・4年）

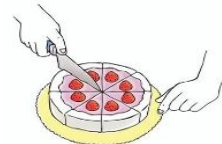
【課題】

- ①「図表やグラフなどの資料の内容を読み取ったり、目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすること」
- ②「物語の登場人物の行動や会話、様子などから性格や考え方をとらえたり、想像したりすること」



【改善策】

- ①「自分の考えを伝える」ために、目的や視点を明確にして話し合いの場を設定したり、考えの根拠を明確にして適切な表現で伝えたりすることを指導していきます。その際、「文を整えること」を意識させて自分の文章を読み直させます。主語と述語のつながりや、誤字・脱字がないか、句読点・かぎの位置は正しいか等、自分で気づけることが大切です。ご家庭でも、日常会話において単語のみで話す様子に気づいたときは、「主語」を意識させて最後まで話をさせるようにしてください。
- ①②文章を読んで、キーワードを取り出して要点をまとめる活動や、心ひかれる表現を探して感じたことを伝え合う活動を取り入れて指導していきます。また、読み取る力や想像力を育むには、日頃から本を読むことが大切です。月曜日の朝読書や給食後の昼読書を設定し、読書に親しませています。本を読むことで理解力や記憶力、論理的思考力などが鍛えられ、読書量が多い子供は、学力が高い傾向があることが分かっています。一読で内容をつかみ、想像力を鍛えるためにも、家読（うちどく）や音読の家庭学習のご協力をよろしくお願いします。



○算数（6年・4年）

【課題】

- ①「データでとらえたことを根拠に理由を説明する力」
- ②「図形の定義や性質を理解すること 直径と立方体の1辺の長さの関係をとらえて式に表すこと」

【改善策】

- ①課題を解決するために個人やペア等で考える時間をとり、「教科の学習用語やその定義を根拠として」書く指導をしていきます。また、文から読み取った情報を、言葉や式を使って説明させる活動では、何を表している式や数なのか意味を明らかにして説明することを意識させます。
- ②図形の学習は苦手な傾向であるため、具体物を用いて理解や定着を図ることが大切です。辺の長さや角度を三角定規や分度器を使って確かめたり、中心・半径・直径などの用語を正しく使って説明したりすることを指導していきます。ご家庭においても、ケーキを切り分けるときや折り紙を折ったりする際に、算数用語を意識的に取り入れてみてください。子供は紙を折ったり重ねたり、形を描いたりする場を繰り返す中で、図をイメージしやすくなり、図形の豊かな見方が育まれます。

○理科・社会（6年）

【課題】

- ①「資料を読み取ること」
- ②「結果を考察すること」
- ③「各教科の学習用語の定着」

理科・社会の学習は、3年生からスタートします。出題範囲は3年から5年までと幅広く、その学年でしか学習しない内容が多いため、復習が大切となる教科です。



【改善策】

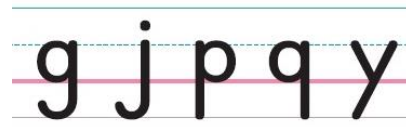
- ①まずは、問題文をよく読むことが大切です。読み解く中で、問われていることや条件に線や印をつけるなど、複数の資料から必要な情報のみを抜き出す情報活用能力を指導していきます。

①②③地図帳を使った名称を探して、実際の縮尺を利用して考えさせたり、理科の器具の用語を使って説明させたりする場面を設定していきます。また、キーワードを選ばせて書くなど、必要な言葉を選ぶことを意識させます。子供たちは授業で多くの知識を取り入れていますので、ご家庭では学習したことを積極的にアウトプットするために、自学でのふり返しをお子さんに薦めてください。

○英語（6年）

【課題】

- ①「必要な情報を聞き取ること」
- ②「大文字と小文字を区別して書くこと」



【改善策】

①②視点をもたせて英語を聞き取ること、聞き取ったことをアウトプットすることが大切です。ALTとの授業の中で、ALTの話聞いて分かった情報を発表するような場の設定や、4線上に合わせて小文字を書くこと、文字と文字の間隔・語と語の間隔に気を付けて書くことを指導していきます。

○質問紙（6年・4年）

【課題】

①学校の授業の予習・復習や、分からなかったところを勉強し直すことが、県より下回っています。

	家で自分で計画を立てて勉強している児童の割合（学校の授業の予習や復習を含む）		分からなかったことをもう一度勉強し直す児童の割合	
	本校	県	本校	県
4年	58%	71%	60%	64.8%
6年	59%	64.6%	55.1%	54.1%

②1日に費やすゲームやSNS、動画視聴等の時間が、県より上回っています。

	1日2時間以上ゲームをしている児童の割合（内4時間以上）		1日2時間以上SNSや動画視聴等をしている児童の割合（内4時間以上）	
	本校	県	本校	県
4年	41.7% (23.8%)	37.9% (11.9%)	23.8% (4.2%)	21.4% (7.5%)

【改善策】

- ①その日に学習したことを見直す習慣を身につけることが大切です。自学ノートを活用し、分からなかった問題を解き直す、授業ノートをふり返ってまとめ直す等、必要な学習を計画的に行う指導を引き続き行っていきますので、ご家庭でもお声かけください。
- ②全国の結果からも、「SNSや動画視聴を行う時間が長いほど、各教科の平均正答率が低くなる」傾向が見られています。時間を有効に使うためにも、ご家庭で、ゲームやインターネット（動画視聴、SNS等）の約束やルールを話し合って決めること、それを守らせることをお願いします。



全体を通して、次の3点が大切だと考えます。

①基礎基本の定着 ②書く力の向上 ③最後まで粘り強く取り組む姿勢

- ①「基礎基本」とは、国語は「書くこと」、算数は「四則計算」が挙げられます。1年生のくり上がり・くり下がり、2年生の九九の定着が基礎基本の土台といえます。基本的な計算スキルを身につけていないと、3年生以上の問題を解くことが難しくなります。
- ②「書くこと」では、「80字以内で」「表の言葉を使って」など複数の条件に合わせて書くことが求められています。ノートに自分の考えをまとめることで力をつけていきたいと思います。
- ③記述式や問題の後半にいくと無解答率が高くなっています。難しい問題はあきらめてしまったり、最後までたどり着けなかったりすることが考えられます。学習だけでなく、物事に**最後まで粘り強く取り組むことが大切です。限られた時間の中で最大限の力が発揮できるように日頃から鍛えていくこと、前向きに努力していくことの大切さを伝え、学習を支えていきたいと思います。**

※裏面には今年度つまずきが多かった問題を紹介しています。